

科目名	特別研究Ⅱ (Advanced Research II in the Specialty Division)		科目コード	M323	
選択区分	必修	履修時期	2通	単位数(時間)	6単位(180時間)
担当教員	則松良明、檜枝美紀、山口文徳、山田武司、草薙康城、 脇坂浩之、祇園由佳、高田智世、岡村法宜、竹内一人、 美間健彦、荒川裕也		関連DP	医③⑤	
授業概要	研究指導教員が研究活動と学位論文の指導を行う。				
授業目標	学生は特別研究Ⅰに引き続き、指導を受けながら各自の専門領域における研究課題を探究し、新しい知見を導き、研究論文を作成する。この過程を通して自身の専門性を高めるとともに、地域の保健医療に寄与できる研究力の修得を図る。				

授業概要(研究指導領域)

<p><b>【生体防御学領域】</b> (山田武司・荒川裕也)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・獲得免疫に焦点を当てた感染防御および腫瘍抑制に関する研究指導を行う。</li> </ul> <p><b>【生体機能検査学領域】</b> (岡村法宜)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・種々の生体信号計測による高次脳機能の解析・評価に関する研究指導を行う。</li> </ul> <p><b>【病態情報解析領域】</b> (山口文徳)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・細胞の増殖・分化のメカニズムや機能分子に注目し、その機能破綻によって生じるがんや中枢神経変性疾患の検査・診断・治療について研究指導を行う。</li> </ul> <p>(脇坂浩之)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・頭頸部がんを中心に、がんの診断、病態、病因に関する研究について論文作成指導を行う。</li> </ul> <p><b>【血液病態検査学領域】</b> (竹内一人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・血液疾患の病態、病因に関する研究(がんゲノム解析や高齢者悪性リンパ腫の予後予測と標準治療の確立など)について論文作成指導を行う。</li> </ul> <p>(祇園由佳)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リンパ増殖性疾患の病態、病因に関する研究について論文作成指導を行う。</li> </ul> <p><b>【分子細胞生物学領域】</b> (檜枝美紀)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・細胞核構築およびその機能に関する研究指導を行う。</li> </ul> <p><b>【遺伝子検査学】</b> (高田智世)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・疾患と関連するゲノム解析やその機能や発現について研究指導を行う。</li> </ul> <p><b>【感染制御学領域】</b> (美間健彦)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・薬剤耐性菌の解析、毒素産生制御の解明、細菌毒素の再生医療への応用などに関する研究指導を行う。</li> </ul> <p><b>【病理細胞診検査学領域】</b> (則松良明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・種々の臓器での癌およびその前癌病変における細胞診断基準の策定に関する研究の論文作成指導を行う。</li> </ul> <p>(草薙康城)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子宮内膜症、子宮頸癌等の診断、病態、病因に関する研究について論文作成指導を行う。</li> </ul>
---

回	内 容
1～10	研究計画書の修正 研究倫理審査委員会への申請
11～40	研究の遂行
41～50	中間発表、評価・修正
51～70	研究の継続 論文作成
71～89	研究結果の発表と批評に基づく修正 修士論文発表会の準備
90	修士論文の完成・提出
成績評価方法	修士論文審査結果(60%)、研究への取り組み・態度(20%)、研究力の修得(20%)
必携あるいは 参考図書・文献	随時、紹介する
授業時間外の 学習について	研究指導計画に沿って、主体的に学習を進める
関連科目	各領域の特論および演習
備 考	特別研究 I の単位取得を前提とする